

平成 26 年度における県職業能力開発施策の概要

1 産業を担う人材の育成の推進

(1) 成長が期待される分野やものづくり分野の人材育成（公共職業訓練の充実）

公共職業訓練の充実を図り、成長が期待される分野やものづくり分野等における人材の育成に取り組む。

ア 専門課程【県立産業技術短期大学校】

実施校	学 科	定 員		(平成26年2月末在籍者数)		
		1 学年	総定員(2年)	1 学年	2 学年	計
産業技術短期大学校 塩山キャンパス	生産技術科	20	40	19	14	33
	電子技術科	30	60	17	22	39
	観光ビジネス科	20	40	23	16	39
	情報技術科	30	60	26	27	53
都留キャンパス	生産技術科	15	30	9	-	9
	電子技術科	15	30	15	-	15
合 計		130	260	109	79	188

<平成26年度入学見込み（前期日程終了時点）> 後期日程あり

実施校	学 科	入学 定員	出願 者数	合格 者数	辞退 者数	入学 予定者数
産業技術短期大学校 塩山キャンパス	生産技術科	20	15	13		13
	電子技術科	30	19	18		18
	観光ビジネス科	20	20	19	1	18
	情報技術科	30	36	28	1	27
都留キャンパス	生産技術科	15	8	8		8
	電子技術科	15	7	7		7
合 計		130	105	93	2	91

イ 普通課程【峡南高等技術専門校】

実施校	訓 練 科	定 員	訓練期間	(平成26年2月 末在籍者数)	備 考
峡南高等技術専門校	自動車整備科	40	2 年	37	定員20名×2年課程
	電気システム科	20	1 年	8	
合 計		60		45	

<平成26年度入校見込み(後期日程終了時点)> 電気システム科追加募集

実施校	訓練科	入学定員	応募者数	合格者数	辞退者数	入学予定者数
峡南高等技術専門学校	自動車整備科	20	37	20		20
	電気システム科	20	11	11		11
合計		40	48	31		31

ウ 短期課程

(ア) 離転職者訓練

a 施設内訓練

実施校	訓練科	定員	訓練期間
峡南高等技術専門学校	造園科	1班	15 6ヶ月 4/4 ~ 9/19
		2班	15 6ヶ月
	服飾科	1班	15 6ヶ月 4/4 ~ 9/19
		2班	15 6ヶ月
小計	2コース	60	
就業支援センター	総合事務科	20	3ヶ月
合計	3コース	80	

b 委託訓練(緊急離転職者訓練)

実施校	訓練科	定員	訓練期間	回数	延べ定員	備考
峡南高等技術専門学校	パソコン基礎科	20	3~4ヶ月	5回	100	デュアル1 託児1
	パソコン応用科	20	3ヶ月	1回	20	
	ネットビジネス科	20	3ヶ月	1回	20	
	パソコン経理科	20	3ヶ月	2回	40	
	Webクリエイター科	20	3~4ヶ月	2回	40	デュアル1
	求人セット型訓練	5	3ヶ月	1回	5	
	小計				12回	225
就業支援センター	介護福祉士養成コース (24ヶ月コース H25~H26)	10~	12ヶ月	2回	24	
	介護福祉士養成コース (24ヶ月コース H25~H26)	15	12ヶ月	2回	30	
	介護職員初任者研修	20	3ヶ月	7回	140	
	介護・医療事務科	20	3ヶ月	2回	40	託児1
	農業科(通常コース)	40	9ヶ月	1回	40	
	農業科(短期野菜コース)	20	6ヶ月	1回	20	

	調理科	20	4ヶ月	2回	40	デュアル
	観光関連サービス科	20	3～4ヶ月	2回	40	デュアル1
	求人セット型訓練	5	3ヶ月	1回	5	
	小計			20回	379	
就業支援センター都留分室	介護職員初任者研修	20	3ヶ月	2回	40	託児1
	介護・医療事務科	20	3ヶ月	1回	20	
	経理事務科	20	3ヶ月	2回	40	
	ビジネスパソコン科	20	3ヶ月	2回	40	
	経理事務実践科	20	4ヶ月	1回	20	デュアル
	ビジネスパソコン実践科	20	4ヶ月	1回	20	デュアル
	Webクリエイター科	20	3ヶ月	1回	20	
	求人セット型訓練	5	3ヶ月	1回	5	
	小計			11回	205	
計				43回	809	

備考の「託児」：託児サービスを付加するコース（託児定員 5人）

「デュアル」：委託訓練活用型デュアルシステム（企業における実習と教育訓練機関における座学を並行的に実施する訓練）

平成26年度から母子家庭の母等対象訓練を緊急離転職者訓練へ統合

母子家庭の母等を対象とする訓練は「特別な支援を必要とする者に対する職業能力開発の推進（P6）」として民間教育訓練機関へ委託して実施《パソコン初級コース H25 定員：15人 託児サービス付き》してきたが、

- ・母子家庭の母等も通常の離転職者訓練を受講することが可能であり（離転職者訓練を受講する母子家庭の母は母子家庭の母等対象訓練受講者より多い）離転職者訓練において本人の希望を踏まえた多様な訓練が受講できる
- ・国は母子家庭の母等訓練事業を平成25年度から緊急離転職者訓練事業に統合している

こと等を踏まえ、平成26年度から緊急離転職者訓練へ統合することとした。

（イ）在職者訓練

a 短期課程

実施校	コース数	回数	定員
産業技術短期大学校 塩山キャンパス	17	22	435
産業技術短期大学校 都留キャンパス	27	28	520
峡南高等技術専門校	19	24	530
就業支援センター	37	38	765
合計	100	112	2,250

b 専門短期課程

実施校	コース数	回数	定員
産業技術短期大学校 塩山キャンパス	3	3	30
産業技術短期大学校 都留キャンパス	2	2	20

c オーダーメイド型訓練

実施校	コース数	回数	定員
産業技術短期大学校 (塩山キャンパス、 都留キャンパス)	最大	最大	最大
峡南高等技術専門学校	15	15	150
就業支援センター			

(2) ① 女性の再就職支援

本県における少子化対策の一環として子育てと仕事の両立を推進するため、結婚、出産などにより離職し再就職を希望する女性求職者に対し、就職に必要な知識・技能の習得を支援する短期間の訓練を実施する。また、訓練を受講しやすいよう託児サービスを行う。

- ・実施方法：民間教育訓練機関等への委託
- ・定員：20人×5回
- ・訓練期間：5日間程度
- ・内容：ビジネスマナー、接客マナー、パソコン操作研修、就職支援、子育てサービス・相談窓口情報の提供等
- ・実施期間：平成26年～27年度

(3) 民間における職業能力開発の促進

企業内における教育訓練の充実を図るため、職業能力開発推進者の選任を促進するとともに、認定職業訓練の充実のための指導援助等を行う。

ア ものづくり人材育成支援助成事業

県内中小企業事業主が、成長分野産業への参入や技術力の強化のため、雇用する技術者・技能者を派遣して先端技術等の修得のための研修を受講させる場合に助成金を支給

- ・支給対象経費 当該派遣従業員の研修期間中の賃金
- ・支給額 支給対象経費の1/2

但し、1日あたりの助成額は雇用保険の基本手当日額の最高額（平成26年4月においては7,830円）を上限とする。

イ 認定職業訓練事業費補助金

- ・運営費補助：訓練の運営経費の2/3以内（国1/3、県1/3）
対象：認定職業訓練を実施する中小企業事業主又はその団体及び職業訓練法人等
- ・施設・設備費補助：施設、設備の整備経費の2/3以内（国1/3、県1/3）

対象：認定職業訓練を実施する中小企業事業主又はその団体及び職業訓練法人等

(4) 山梨大学との連携

山梨大学工学部において県内企業で活躍が期待される学生を選抜し実施する特別演習と特別インターンシップ等に要する経費について、大学に対し助成を行う。

- ・助成額 定額 250万円
- ・助成対象事業 特別講義、特別インターンシップ等に要する経費

2 職業生涯を通じたキャリア形成支援の推進

企業ニーズに即して個別に実施するオーダーメイドによる在職者訓練の実施等により、企業による労働者の能力開発を支援する。

【オーダーメイド型訓練】（再掲）

実施校	コース数	回数	定員
産業技術短期大学校 (塩山キャンパス、 都留キャンパス)	最大	最大	最大
峡南高等技術専門校	15	15	150
就業支援センター			

3 技能の振興

(1) 技能の継承

「やまなし匠の技・伝承塾」により、熟練技能者の技術・技能の若年者への伝承を図る。

- ・研修人員：18人
- ・職種：普通旋盤コース10人 フライス盤仕上げコース8人
- ・期間：8月～翌年2月（予定） 15日間（土曜日：計約90時間）
- ・実施場所：産業技術短期大学校
- ・委託先：県技能士会連合会

(2) 技能の振興

技能検定の受検を促進するとともに、ものづくり体験の機会を提供する等により技能の重要性の理解を図る。

ア ものづくり技能塾

- ・産業技術短期大学校：
7月～8月（予定） 5コース
- ・峡南高等技術専門校：
7月～8月（予定） 自動車整備コース（学校説明会と併せて実施）

イ ものづくり体験事業

11月 県技能まつり（県民の日 小瀬スポーツ公園）

ウ 技能五輪全国大会への参加

- ・第52回技能五輪全国大会
実施期間：11月28日～12月1日
開催地：愛知県

エ 障害者技能競技大会（アビリンピック）

- ・第34回山梨県障害者技能競技大会
実施期間：10月5日（日）
開催地：山梨職業能力開発促進センター（ポリテクセンター山梨）
- ・第35回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）
実施期間：11月21日（金）～11月23日（日）
開催地：愛知県

4 特別な支援を必要とする者に対する職業能力開発の推進

(1) 障害者への支援

障害特性等に配慮した訓練を実施するとともに、障害者の社会参加や自立を促すため障害者の雇用を促進する。

ア 職業訓練

(ア) 一般校を活用した障害者職業能力開発事業（施設内訓練）

- ・実施校：就業支援センター
- ・訓練科：総合実務科（販売実務コース、環境サービスコース）
- ・対象者：知的障害者
- ・定員：20人
- ・実施期間：1年

(イ) 障害者の態様に応じた多様な委託訓練

- ・実施校：就業支援センター
- ・訓練形態：民間教育訓練機関等に委託
- ・訓練コース：以下のとおり

校名	訓練コース	定員	訓練期間	対象障害者
就業支援センター	介護サービスコース（デュアル）	10	4ヶ月	知的、精神
	初級パソコンコース	10	3ヶ月	身体、知的、精神
	初級パソコンコース	7	3ヶ月	身体、知的、精神
	実践パソコンコース	10	3ヶ月	身体、精神
	実践パソコンコース	10	3ヶ月	身体、精神
	経理パソコンコース	8	3ヶ月	身体、精神
	実践トレーニングコース	30	3ヶ月以内随時	身体、知的、精神
	特別支援学校早期訓練コース	10	3ヶ月以内随時	身体、知的、精神
小計		95		

都留分室	初級パソコンコース	5	3ヶ月	身体、知的、精神
	実践トレーニングコース	5	3ヶ月以内随時	身体、知的、精神
	小計	10		
合計		105		

(ウ) 障害者職業能力開発校への入校促進のための奨励金

県外の障害者職業能力開発校(本県には未設置)へ入校した者に対して、教材費、交通費、転居費用等の一部を援助する。

- ・支給額：一人 40,000円(入校時に支給)

イ 雇用・就業の促進

(ア) 障害者雇用安定促進助成金

障害者の雇用の促進及び職場への定着を図るため、国の特定求職者雇用開発助成金の受給終了後、障害者を継続して雇用する中小企業に対して助成を行う。

- ・支給要件：国の特定求職者雇用開発助成金受給終了後、6か月以上継続して障害者を雇用した場合
- ・支給期間：1年間(支給は6か月毎)
- ・支給額：重度障害者等200千円(100千円×2回)
重度以外 100千円(50千円×2回)

(イ) 「障害者雇用支援運動」の実施

障害者の雇用に関する県民、事業主の関心と理解を一層深めるため、障害者雇用支援運動を実施する。

- ・障害者雇用啓発キャンペーン：9月
- ・障害者技能競技大会の開催：10月5日(日)
- ・県ホームページ、広報誌等による周知、啓発：県情報誌「やまなし労働」、新聞掲載等
- ・障害者雇用優良事業所等表彰
- ・障害者雇用要請活動：法定雇用率を下回っている官公庁、企業を訪問し障害者の雇用を要請